

令和元年 全日本学生自動車連盟九州支部 総会

議事録

日時 令和元年 2月16日 14:00

場所 九州工業大学 戸畑キャンパス

出席校 九州大学 九州工業大学（戸畑） 九州工業大学（飯塚） 北九州市立大学
九州産業大学 福岡大学 西南学院大学 宮崎大学 佐賀大学

委任状提出校 大分大学 久留米大学 福岡工業大学

全加盟校 12校中 出席校 9校

全日本学生自動車連盟九州支部規約 第6章第19条4により、本総会は成立した。

(注) 時系列に議事を記録している。

議題 1 令和元年活動報告・令和二年活動予定

令和元年 活動報告

全九州学生選手権大会

全九州学生ダートトライアル大会

5月4日（土）

SPEEDPARK 恋の浦（福岡県福津市）

春季全九州学生ジムカーナ大会

6月8日（日）

SPEEDPARK 恋の浦（福岡県福津市）

全九州学生ラリー大会

10月27日（日）

福岡県築上郡築上町

春季全九州学生ジムカーナ大会

11月16日（土）

SPEEDPARK 恋の浦（福岡県福津市）

全日本関連

全日本学生ダートトライアル選手権大会

8月4日（日）

丸和オートランド那須（栃木県）

全日本学生ジムカーナ選手権大会

8月30・9月1日（土・日） 鈴鹿サーキット国際南コース（三重県）

全日本学生自動車運転競技選手権大会・全日本学生自動車連盟総会

11月24日（日） 近鉄自動車学校（大阪府）

令和二年 活動予定

全九州学生選手権大会

全九州学生ラリー大会

未定

未定

全九州学生ダートトライアル大会

5月2日（土）

SPEEDPARK 恋の浦（福岡県福津市）

春季全九州学生ジムカーナ大会

6月20日（土）

SPEEDPARK 恋の浦（福岡県福津市）

秋季全九州学生ジムカーナ大会

10月10日（土）

SPEEDPARK 恋の浦（福岡県福津市）

全日本関連

全日本学生ダートトライアル選手権大会

8月9日（日）・10日（月）

テクニクスステージタカタ（広島県）

全日本学生ジムカーナ選手権大会

8月29日・30日（土・日）

鈴鹿サーキット国際南コース（三重県）

全日本エコドライブチャンピオンシップ 2020

未定

未定

全日本学生自動車運転競技選手権大会・全日本学生自動車連盟総会

11月29日（日）

警視庁交通教育センター（東京都）

議題 2 会計報告

令和元年の会計報告と、令和二年の予算案の提案がなされた。

柴田理事より

会計報告について「マーシャル費用0円は書き方としてよくないのでマーシャル費用をお支払いして寄付された形にするように」

とのご指摘があった。

林理事より予算報告について

「予算案が21日からになっているが、それでは明日からの予算案になるので今日の支部総会の費用が来年の予算案から使えなくなる。」

「今年度決算の次年度への繰越金と次年度予算の前年度繰越が同じにならないのはおかしい」

とのご指摘があった。

ここで議題2について承認が得られた。

議題3 議案

○議案1 当支部理事の交代について

当支部より当支部理事の交代が提議された。変更は以下の通りであった。

中山 聖（九州大学自動車部）から、小坂 黎（九州大学自動車部）に交代。

ここで議決がとられ議案1は承認された。

○議案2 全日本理事交代について

当支部より全日本理事を西南学院大学の上田理事から九州工業大学の渡邊武士への変更が提議された。

柴田理事より

「学生が全日本の理事に就任するのは不可能である。西南大学が責任をもって後継者を探すべきである」

とのご指摘をいただいた。よってこの議案は

上田理事の任期である11月末までに西南学院大学内で全日本理事の後任者を探す。

と変更され、ここで議決がとられ承認が得られたの可決された。

○議案3 九州支部理事の再任について

当支部の理事である、柴田千代治理事、本村哲夫理事、林佳彦理事の当支部理事としての任期がすでに満了しているため、再任を提議した。

柴田理事より

「上原支部長の任期も含めてすべての理事の任期の再任に関する決議にすべき。」

とのご指摘をいただき、この議案は

上原支部長、柴田理事、本村理事、林理事の任期を再任する決議とする

と変更され、ここで承認を得られたので可決された。

全日本学生自動車連盟から

特にないので割愛する。

九州支部から

令和2年全九州学生ジムカーナダートトライアル大会特別規則書の草案について

参加申し込み書及び車両申告書をネット上のアンケートフォーム形式に統一し、紙媒体をなくす。

全九州ダートトライアル大会特別規則書について

第1条第1項の「社団法人全日本自動車連盟」を「一般社団法人全日本自動車連盟」に訂正

第4条第1項参加申し込み受付期間についてネット上の申し込みに変更したため、日付と時間に変更し、申し込みに関しては「下記のURLまたはQRコードより参加申し込み書及び車両申告書の回答を行うこと」と文言を変更している。

全九州大学対抗チャンピオンシリーズ第4条団体戦成立要件の校数の変更について

団体戦の成立を「各大会において5校以上の参加をもって成立する」を「3校以上をもって成立する」に変更する。

柴田理事より

「何校以上の参加で表彰をするべきかも議論すべきではないか」
とのご意見をいただいた。

議題4 令和2年常任委員紹介

令和二年の常任委員の編成について以下のように紹介された。

常任委員長	清水 美里	(九州大学自動車部)
常任副委員長	笹栗 魁人	(九州大学自動車部)
同	宇田川 陽亮	(九州大学自動車部)
会計	長森 大河	(九州工業大学自動車部)
常任委員	渡邊 武士	(九州工業大学自動車部)
同	岡崎 仙	(九州大学自動車部)
同	箕輪 遼太郎	(九州工業大学自動車部)
同	鶴田 真也	(九州工業大学自動車部)
同	平島 優輝	(九州工業大学自動車部)

議題5 加盟校からの意見要望等

北九州市立大学より

「秋季全九州学生ジムカーナ大会より、ヘルメットについてあごひものDリングの指定と
全員分のヘルメットの用意が指定されたが、これについて来年以降も継続されるのか」

との質問があった。

小坂委員長より

「Dリングについては全日本学生自動車連盟で定められているので今後も指定を継続して
いく。全員分のヘルメットの用意については特別規則書などで明文化は避けているが、安全
上の点から全員分のヘルメットを用意してほしい。」

との回答があった。

議題6 九州支部の準加盟クラブ発足について

当支部より

JAF 九州支部共催の適用ができないことから今まで全九州学生大会では九州大学自動車部との共催としてきた。しかしそれでは万が一の際の責任の所在が不明確となる可能性があり、また、今後も九州大学自動車部が JAF 準加盟クラブとして存続していけるかは怪しい。また全日本学生自動車連盟のクラブ印は関東にあるが、今年の大会開催をめぐってクラブ印が届かないトラブルなども多々あり、大会開催が危ぶまれることもあった。コンセプトとしてはこれから自動車部を存続させることが厳しい、若しくは準加盟クラブを存続させることが厳しいクラブの受け皿として九州支部を準加盟クラブとして発足させたい。

との提案があった。

林理事より

「自動車部に所属していなくても大学に所属している学生ならよいのか？」

とのご指摘があった。

当支部より

「加盟校のためのクラブなので、加盟校の大学自動車部でクラブを持っていない人のクラブにしたい。」

との回答があった。

福岡大学より

「FUAC が B 級ライセンスを所有する学生が七人を割る危機にある。他大学の受け皿も考えたが、今回この連盟クラブのお話をいただいたので、他大学と準加盟クラブ登録料を分担し合えるなら今後の後輩のためにも FUAC を加盟校クラブに変えて存続させたい」

との提案があった。

柴田理事より

「クラブ登録料の負担をどうするのか、支部で負担するといっても元々は各大学自動車部

が払っているお金である。このクラブの恩恵を受ける自動車部と恩恵を受けない自動車部で不公平が生じてしまうのではないか」

とのご指摘をいただいた。

柴田理事、林理事より

「今ここで決められるものではない。とくに準加盟クラブの大学がどういう反応をするのかわからない。加入費の負担はどうするのかも各大学主将の判断だけでなく各部員の判断も必要である。」

とのご意見をいただいた。

よって

○AJSAA九州のクラブ創設に賛成か反対か。

○加盟クラブを持つ大学自動車部でこのクラブに入りたい人はいるか。

○加盟クラブをもつ大学もこのクラブの経費を負担することに賛成か反対か。

またどこまで負担することが可能か

以上を再度文書で各部に通達し、各部で話し合ってくださいその結果を2月中旬の主将会議で議論することにする。